



木曽川源流の里 木祖村

広報

きそ



木祖村
イメージキャラクター
“源流の源気くん”

2026

7

No.397

令和8年

7月23日



世代を超えて楽しむボッチャ大会&ニュースポーツ体験会

木祖村公民館では6月13日(土)、小学生を対象とした「すくすく倶楽部」と共催で『ボッチャ大会&ニュースポーツ体験会』を開催しました。本事業は、子どもの健全育成や高齢者の生きがいづくり、多世代交流を目的としたものです。

当日は小学生から高齢者まで約40名が参加し、12チームに分かれてボッチャの予選・決勝リーグを行いました。優勝は小学2年生の娘さんをキャプテンにお父さん、おばあちゃんで構成された三世代チーム、準優勝は小学生3人の女子チームでした。試合は一投ごとに緊張感があり、白球に寄せる好プレーに大きな歓声が上がると盛り上がりを見せました。またニュースポーツ体験も行われ、年齢、性別、障がいの有無に関わらず、子どもから高齢者まで誰もが楽しめる交流の場となりました。

今月の主な内容

- | | |
|---|---|
| ・ 村長コラム 2P | ・ 有害鳥獣対策にご協力をお願いします 12、13P |
| ・ 木祖村こども家庭センターのご案内 3P | ・ 木祖村郷土館だより 14P |
| ・ 国道19号数原改良事業に関する
今年度工事について 4、5P | ・ 源流のもりクラブニュース 15P |
| ・ きそむらふるさと大使 伊藤一生さん&いっせーくん
これまでのあゆみ 6、7P | ・ 伊藤一生の恋愛コラム&活動報告 16P |
| ・ 熱中症に気をつけましょう! 8P | ・ 木祖村地域おこし協力隊員の2人から
皆さんへのお便り 17P |
| ・ ご存じですか? エアコンの「2027年問題」 9P | ・ 観光協会だより 18P |
| ・ 木祖村健康アプリ えってこ/
第6回ウォーキングラリー大賞 10P | ・ 木祖村友愛会 19P |
| ・ 公民館だより 11P | ・ 保育園&子育て支援センターだより 20P |
| | ・ 放課後児童クラブ日記 21P |
| | ・ お知らせ 22、23P |

村長コラム

お六櫛の文化財選定に想う



先日、木曽のお六櫛の製作技術が、「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（国の選択無形民俗文化財）」に選ばれ、文化庁長官から選定書が交付されました。

櫛職人の皆様や保存に力を入れている皆様、また村全体にとっても大変嬉しい出来事です。

また、これまで櫛に関わってこられた先人の方々のご尽力に心から敬意を表する次第です。

お六櫛は、皆様ご承知のとおり木祖村が誇る精緻な工芸品で、江戸時代から御嶽信仰や善光寺参りの際のコンパクトな土産物として多くの人に愛されてきました。

頭痛に悩まされた「お六さん」が、「ミネバリの木で作ったすき櫛で髪をとかせば治る」という御嶽大明神からのお告げに従ったところ、見事に治ったという神秘的な云われも相まって、江戸時代に大層な人気となり、鳥居峠にミネバリの木があったことから藪原宿で生産され、享保年間には、宿場の8割近くが櫛に関わる仕事をしていたとも言われています。

このことは、お六櫛が村の経済を支える重要な産物であったと言っても過言ではないと思います。

その櫛づくりが今や、職人数が僅かとなり、存続の危機にさらされています。

村では、かれこれ5年以上担い手の確保に取り組んできましたが、応募者の適性不足や将来展望などから、なかなかうまくいきませんでした。

しかし、ここへきて都会出身の「井上慧さん」が彗星のごとく現れ、楽器職人の経歴や田舎を苦にしない性格からお六櫛の製作技術を順調に習得してくれています。

村としては、彼の更なる技術向上と「櫛で食べていく」環境づくりを支援しつつ、新たな担い手の確保にも努めていくことが重要だと考えています。

お六櫛は、今回の国指定のほか、県の伝統工芸品にも指定され、まさに木祖村の「宝」です。

この宝を後世に引き継いでいくことが我々に課された使命であるとの想いを新たにしたい出来事でした。

村 長 奥 原 秀 一

木祖村 こども家庭センターのご案内



こども家庭センターってなに？

妊娠・出産からこども・子育てについての総合窓口です。

木祖村役場 住民福祉課内に「木祖村こども家庭センター」を設置しました。

母子保健と児童福祉の2つの機能を一体化し、今まで以上に、すべての妊産婦さんとお子さん、保護者の皆さまに対し、さらに効果的で切れ目のない支援を地域のさまざまな施設・機関と連携・協力しながら実施していきます。

センターはなにをするの？



個々の状況、ライフステージに合わせた支援を行います。

	妊娠前	妊娠後	出 産	乳幼児	保育園	就学以降
母子保健	ご自身の希望に応じて、妊娠に関する相談に応じます。	母子手帳交付や妊婦面談を通して、赤ちゃんのいる今後の生活について一緒に考えます。	訪問等を通して個別に子育ての相談に応じます。	健診や教室、子育て支援センター等で子育てのご様子について共有し、相談に応じます。	保育園の生活をその子らしく送れるように、各種相談を通じて支援します。	自己実現に向けてお子さんが成長していく過程を、親御さんとともに支援します。
児童福祉		妊娠の継続や妊娠に伴う不安・悩みに寄り添い、必要に応じて医療機関等と連携して対応します。	産後の心身の状態、育児不安、授乳の状況等に応じて必要なサービスのご紹介をします。	お子さんの発達に関する相談に応じます。	お子さんが社会性を身につけていく上での不安や悩みを各種専門職とともにサポートします。	学習や発達に関すること、ヤングケアラーに関すること、不登校に関すること等の各種相談に応じます。
事業内容	・不妊治療費補助 ・風しん予防接種費用補助	・母子手帳交付 ・妊婦面談 ・妊婦のための支援給付金 ・プレママサポート事業 など	・新生児訪問 ・分娩にかかる交通費・宿泊費補助／宿泊サポート ・産後ケア事業 など	・乳幼児健診 ・乳幼児相談 ・離乳食教室 ・療育相談 など	・巡回療育相談 ・年中児子育て相談 ・子育て短期支援事業 など	・巡回療育相談 ・子育て短期支援事業

【全期間を通して】

- 親と子の心とからだの相談会
- 家庭に関する相談（家庭内不和、DV など）
- 小児科・産婦人科 SNS 相談
- 児童虐待に関する相談



お気軽にご相談ください！

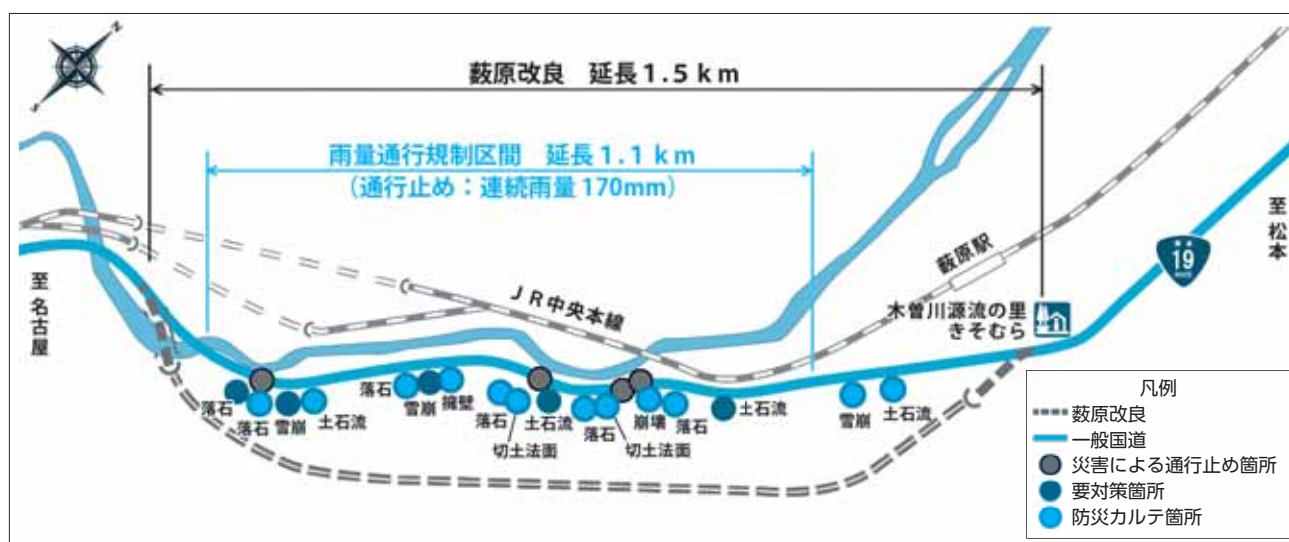
木祖村役場 住民福祉課（保健係） ☎ 36-2001 Mail : hoken@kisomura.com

国道19号薮原改良事業に関する 今年度工事について

木祖村薮原の国道19号は、防災点検により要対策箇所に指定された箇所が複数存在するとともに、雨量通行規制区間にも指定されているため、大雨や台風の際（連続雨量170mm）には通行止めが発生します。

こうした中、国土交通省飯田国道事務所では薮原改良事業を進めています。事業の整備により、薮原地区の防災対策並びに雨量通行規制区間を解消することで、この地域に欠かせない国道19号をより安全に利用できるようになります。

今年度より本格的に工事が開始され、工事で発生する土砂の運搬も始まります。

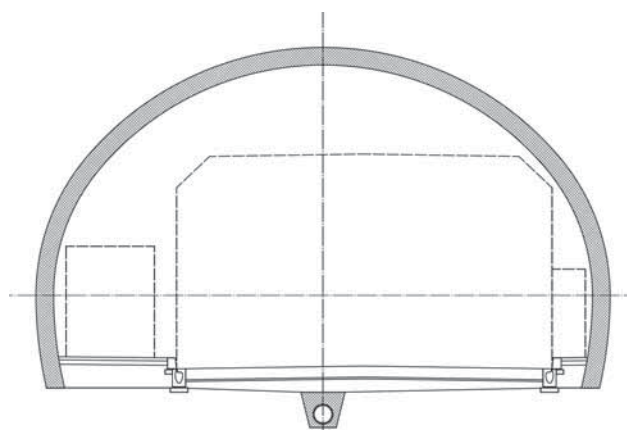


○今年度工事について

- ①工 事 名 令和7年度 19号薮原トンネル工事
- 工事場所 長野県木曾郡木祖村薮原地先
- 工 期 令和8年1月15日から令和11年3月30日
- 作業時間 8:00～2:00〔2方施工〕（但し、作業状況により変更があります。）
- 工事概要 トンネル工事（L＝1,446m）です。トンネル掘削は南側より開始します。
トンネル工 1式、道路土工 1式、法面工 1式、仮設工 1式
- 受 注 者 株式会社 安藤・間 名古屋支店



【イメージ図（南側）】



【断面図】

②工 事 名 令和7年度 19号数原道路改良工事

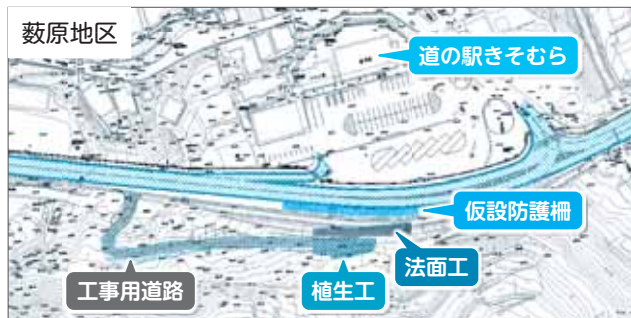
工事場所 長野県木曽郡木祖村数原地先

工 期 令和8年4月1日から令和9年2月26日

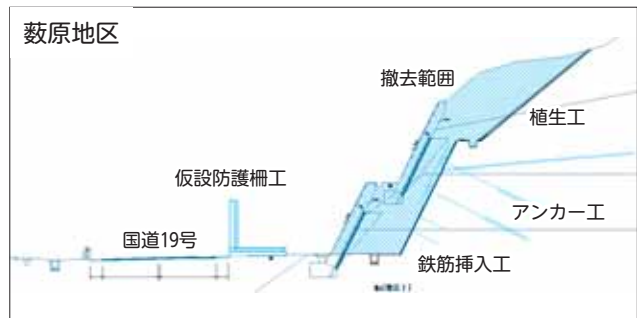
作業時間 8:00～17:00（但し、作業状況により変更があります。）

工事概要 道の駅前の道路改良工事です。法面整備が主な工事内容です。
（数原地区）道路土工 1式、法面工 1式、仮設工 1式

受 注 者 宮下建設 株式会社



【平面図】



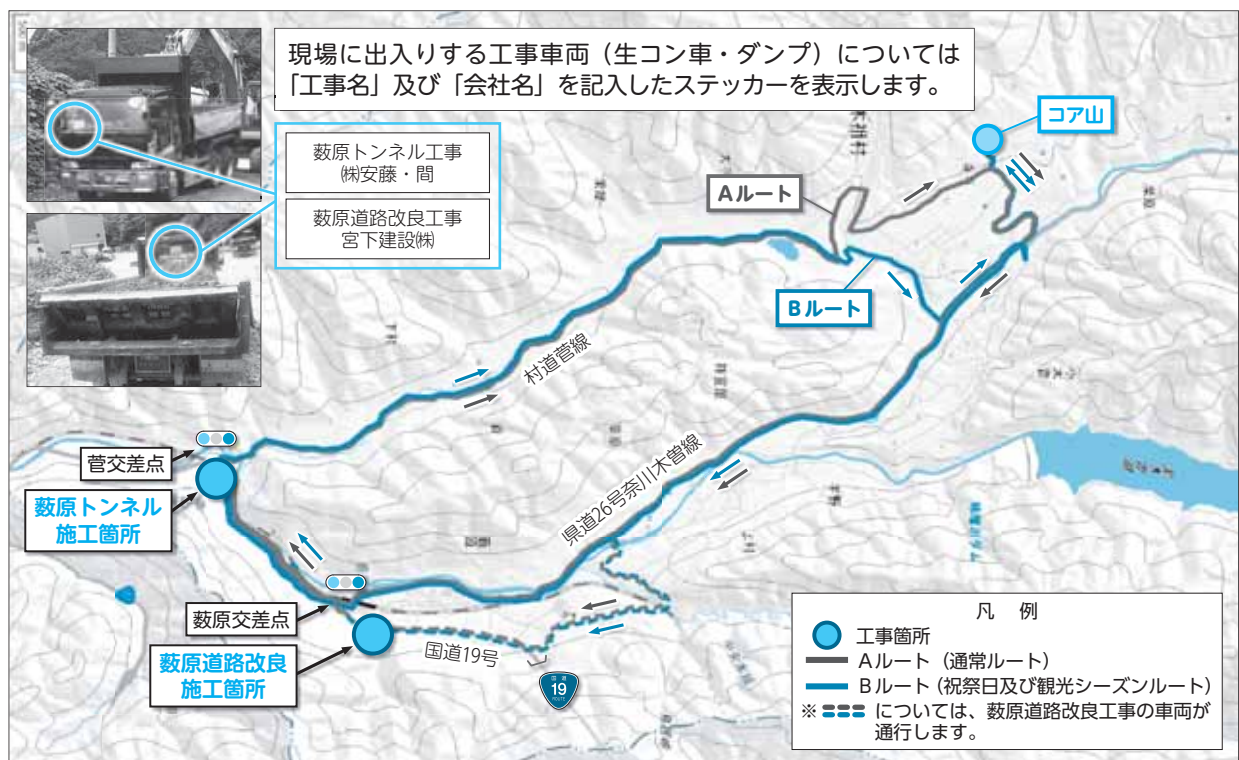
【断面図】

○工事で発生する土砂の運搬ルートについて

工事で発生した土砂はコア山へ順次運搬します。運搬につきましては、国道19号→菅交差点→村道菅線→県道26号奈川木曽線→コア山→数原交差点→国道19号のルートを時計回り（右回り）に運行するAルートと、祝祭日及び観光シーズンに運行するBルートの2ルートで行います。

運搬時間は8:30～17:00（作業の区切りにより終業時間が変更となる可能性があります）。ダンプトラックの運搬時には、騒音や粉じん抑制のため制限速度を遵守し走行します。工事期間中は地域の皆様にご迷惑をおかけしますが、安全第一にて作業を進めて参りますのでご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。

【土砂運搬ルート図】



お問い合わせ 飯田国道事務所 木曽維持出張所 ☎ 22-3011



きそむらふるさと大使

伊藤一生さん & いっせーくん これまでのあゆみ

村では令和6年（2024年）8月3日木曽川源流夏祭りにおいて、きそむらふるさと大使に伊藤一生さんといっせーくんを任命しました。お二人には、木祖村の魅力を広く発信いただき、観光や自然など多方面にわたりPR活動にご尽力いただいております。

このたび、令和8年（2026年）10月15日をもって任期満了を迎えることとなりました。これまでの活動に対し、心より感謝申し上げますとともに、その歩みをご紹介します。

きそむらふるさと大使とは

きそむらふるさと大使は、木祖村の魅力を広くPRすることを目的として設置されています。日常生活や仕事、人と人とのつながりなど、さまざまな機会を通じて、木祖村の魅力をボランティアで発信していただく役割を担っています。

また、県外でのイベント出展にかかる交通費や出展費用、チラシなどの宣伝素材に関しては、すべてふるさと大使ご自身のご負担により実施いただいております、そのご協力のもと情報発信活動が行われています。

※きそむらふるさと大使として村から依頼し実費弁償としてお渡しした金額は、源流夏祭り交通費21,320円（計2回分）、にっしん市民祭りでの交通費負担216円の合計21,536円となります。上記以外、村役場からの大使活動に関する金銭の支払いはありません。予算についても辞退されております。



伊藤一生さん プロフィール

肩書：やぶはら高原観光大使
（2015年～）
木祖村観光大使（2017年～）
きそむらふるさと大使
（2024年～2026年）

活動歴：木曽川上下流交流事業をきっかけに、2015年から木祖村の魅力をPRする活動を開始
活動内容：全国14～17か所（年間）のイベント参加、全国のスポーツショップ約40店舗個別営業 など



いっせーくん プロフィール

誕生日：12月28日
職業：木祖村観光大使（2017年～）
きそむらふるさと大使
（2024年～2026年）
趣味：ごろごろ
好物：とうもろこし、ピリ辛こうじ

長野県木祖村を応援するために生まれたキャラクター
木祖村の観光大使として、こだまの森や、やぶはら高原スキー場、縁結神社、奥木曽湖などの観光情報、お六櫛などの特産品を紹介している

木祖村での取り組み

- 第5次総合計画 オブザーバー参加（2017年）
- 木祖村ブランド認定委員（2018年～2022年）
- ひこにゃん来村イベント開催（2019年）
- 広報きそ 恋愛コラム 連載
- 役場職員や地域おこし協力隊セミナー講師（2023年～2024年）
- 木祖村文化祭50回記念 魅力発信講座 講師（2023年）

全国規模での取り組み

- 愛知県日進市
結婚支援事業アドバイス・観光資料提供
- 東京都内
木祖村物産展開催、新宿マルイアネックスにて「ピリ辛こうじ」展示
- 県内・県外複数自治体
「特産品展開・PR効果」「特産品ブランド化方法」等の支援・指導

★全国へのイベント参加による観光PR

愛知・近畿・関西・首都圏など全国14～17か所（年間）のイベントに参加し、木祖村のPR活動を実施いただいています。会場では名刺カードやチラシ、特産品のPR活動を行い、特に子育て世代の家族層を中心に、やぶはら高原スキー場やこだまの森への誘客に大きく貢献いただきました。

また、イベント会場において特産品の直接販売にも取り組みられ、2025年には計5,764個の特産品を販売するなど、販路拡大にも寄与されています。

さらに、2024年にはふるさと納税ポータルサイト連携企画において、村の返礼品である日本酒「金紋錦」のPRを実施し、同ポータルサイトの全国月間人気ランキング1位を獲得しました。これにより、金紋錦のふるさと納税寄附件数は前年比約30倍に増加するなど、大きな成果を上げています。



世界キャラクターさみっとin羽生



ふるさと納税ポータルサイト連携企画

★やぶはら高原スキー場の営業活動

全国のスポーツショップ約40店舗を対象に個別訪問による営業活動を実施し、関東・関西エリアを中心に新規開拓に取り組んでいただいています。



伊藤一生さんの営業活動により、リフト券の販売実績は7シーズン累計で7,808枚にのぼり、安定した誘客に大きく貢献いただきました。また、全国展開する大手スポーツショップ2社との直接交渉を通じて、全店規模での共同プロモーションの実現にもつながっています。

さらに、一般社団法人木祖村観光協会およびスキー場スタッフ、スキー場に関わる方々と連携しながら営業活動を展開し、パンフレットや割引券の配布などを積極的に行うことで、来場者数の増加にも寄与いただきました。

※やぶはら高原スキー場営業の活動は一般社団法人木祖村観光協会からの依頼により実施しています。



村のみなさんへのメッセージ

村のみなさんの温かい応援のおかげで、ふるさと大使としての活動を行うことができました。

活動初期から「木祖村の観光や人、食べ物、どれも素晴らしいものばかりなので知ってさえいただければ絶対に来ていただける」という思いで活動しています。たくさんの方が木祖村を訪れ、素晴らしさを知ってくれて嬉しかったです。協力してくださった観光協会はじめ村の事業者さん、村のみなさんのおかげで活動ができていたと思っています。ふるさと大使の活動を支えていただき、ありがとうございました。

熱中症に気をつけましょう！

■ 熱中症とは

高温多湿な環境に長くいることで体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく、屋内で何もしていないときでも発症します。

■ 熱中症に気をつける指標として暑さ指数（WBGT）があります

暑さ指数（WBGT）は、「熱中症のなりやすさ・危険度」を数字で示した指標です。

暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	注意すべき生活活動の目安	注 意 事 項
31以上	危 険 (運動は原則中止)	すべての生活活動で おこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生 する危険性が高い。外出はなるべく 避け、涼しい室内に移動する。
28以上31未満	嚴重警戒 (激しい運動は中止)		外出時は炎天下を避け、室内では室 温の上昇に注意する。
25以上28未満	警 戒 (積極的に休憩)	中等度以上の生活活動で おこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的 に十分に休憩を取り入れる。
25未満	注 意 (積極的に水分補給)	強い生活活動で おこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や 重労働時には発生する危険性がある。

■ 熱中症警戒アラート・熱中症特別警戒アラート

「熱中症警戒アラート」は、気温が著しく高くなることにより熱中症による健康被害が生じるおそれがある場合に発表される情報です。県内の暑さ指数情報提供地点（29か所）のうち、いずれかの暑さ指数情報提供地点において、翌日・当日の1日の中で最も高くなる暑さ指数（WBGT）の予測値が33に達する場合に、原則県単位で発表されます。

2024年4月から、従来の「熱中症警戒アラート」に加えて、新たに「熱中症“特別”警戒アラート」が創設されました。「熱中症特別警戒アラート」は、広域的に過去に例のない危険な暑さ等となり熱中症による重大な健康被害が生じるおそれがある場合に発表される情報です。運用開始以降、全国で1度も発表されたことはありません。

■ 昨年の熱中症警戒アラート発表状況と木祖村の暑さ指数

2025年、長野県での熱中症警戒アラート発表回数は15回（すべて7月～8月）でした。村ではアラートが発表されるたびに音声告知やLINEで村内に周知をしました。実際の藪原地点の暑さ指数（WBGT）は「31以上（危険）」の日が7月に1日、「28以上（嚴重警戒）」の日が7月に18日、8月に20日の計38日でした。この中にはアラートが発表されていない日も含まれています。つまり7月～8月はアラートの発表にかかわらず、気温の高い時間帯は嚴重警戒が必要です。

■ 2026年の村内でのお知らせ

7月～8月は熱中症警戒アラートの発表の有無にかかわらず注意が必要であるため、6月末より週に1回の音声告知・LINE通知をおこなっています。定期的に具体的な熱中症対策をお知らせしていきますので、参考にいただき、暑い夏を元気に乗り越えましょう。

■ 熱中症関連の情報を確認するには

環境省のサイト・LINEなどで暑さ指数や気象情報、熱中症に関する情報をみることができます。日々の参考にしてください。こちらのQRコードからアクセスできます。

参照：環境省熱中症予防情報サイト

熱中症対策
／長野県



環境省
熱中症警戒情報



公式LINE「環境省」
(LINEが開きます)

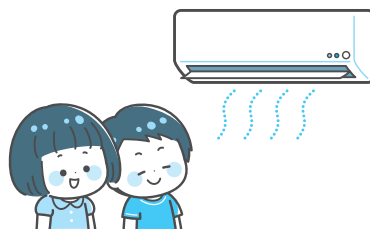


記事に関するお問い合わせ 木祖村役場 住民福祉課 担当：神田・上洞 ☎ 36-2001

ご存じですか？エアコンの「2027年問題」

ここ数年、気候変動によりだんだんと暑い日が増え、木祖村でもエアコンを設置・検討されているご家庭が増えております。

そんな中、今家電業界や環境の分野で話題になっているエアコンの「2027年問題」をご存じでしょうか。これは、国のルール（省エネ法）によって、2027年度から家庭用エアコンの省エネ基準がこれまでよりも大幅に厳しくなる、というものです。



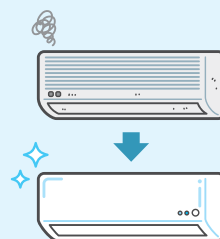
なぜ基準が厳しくなるの？

私たちが普段使っている電気の多くは、CO₂（二酸化炭素）を排出して作られています。地球温暖化を止め、未来の子どもたちに豊かな自然を残すためには、家庭での消費電力を減らすことが欠かせません。そこで、家庭の電気の約3割を占めるといわれるエアコンの「省エネ性能」を底上げしよう、という国を挙げた脱炭素社会への取り組みなのです。



2027年になるとどう変わる？

新基準をクリアした、少ない電力でしっかり冷暖房ができる「超・省エネエアコン」がこれからの主流になる一方、これまで主流だったシンプルな低価格モデルの多くは新基準を満たせないため、2027年以降は市場から姿を消していき、実質的な値上がりになるのではないかと心配されています。そのため、「今のうちに買い替えよう」という駆け込み需要による品薄や、設置工事の混雑も予想されています。



「お財布」と「エコ」のいい関係

最新の省エネ基準を満たした高性能なエアコンは本体価格が確かに高いかもしれませんが、省エネ性能が高いエアコンは、毎月の電気代をぐっと抑えてくれます。10年以上前の古いエアコンから買い替えた場合、年間で数万円の電気代が浮くとも言われます。

初期費用は少し高くなっても、長く使えば使うほどお財布にやさしく、CO₂排出量も減らせるため、地球にとっても一番の選択になります。



信州省エネ家電等購入応援キャンペーンのお知らせ

長野県では、家庭におけるエネルギー費用負担の軽減及び温室効果ガスの削減を目的とし、国の「重点支援地方交付金」を活用し、信州省エネ家電等購入応援キャンペーン第3弾を実施しております。

対象店舗でエアコンを始めとした対象製品を購入すると、品目やエコ性能に応じてキャッシュレスポイントが付与されます。

詳しくはコールセンター（☎ 050-1748-5234）にお問い合わせいただくか、専用WEBサイトをご覧ください。



専用
WEBサイトは
こちら

木祖村健康アプリ えってこ

木祖村のオリジナルアプリ「えってこ」を知っていますか？

歩数の計測表示はもちろん、歩行距離、消費カロリー、歩いたことによる医療費抑制額もわかります。また検診や健康教室の予定、保健だより、暑い時期には熱中症予測もみることができます。

またオリジナル機能「GoToウォーク」では、47都道府県の風景写真を楽しみながら歩ける日本1周コースや、木祖村を再発見できるコースの計5コースを体験できます。お手持ちのスマホから誰でも無料でダウンロードできますので、ぜひご利用ください。

●ご利用方法

- ①右のQRコードを読み込みAppStoreまたはGooglePlayから「えってこ」アプリをダウンロードしてください。
- ②アプリを起動し、メッセージに従って、ニックネーム／メールアドレス／お住まい／目標歩数／パスワードなどを入力してください。

設定方法などがわからない場合は
お気軽に役場住民福祉課にお問い合わせください！

ダウンロード先QRコード



App Store
からダウンロード



Google Play
でダウンロード

木祖村 第6回 ウォーキングラリー大賞

今年は参加者に熊鈴※プレゼント！
※申込書を役場に提出された方。数に限りがあります。

受付期間 2026年8月3日(月)～10月30日(金)

実施期間 2026年9月1日(火)～10月31日(土)

参加資格 木祖村に住所のある方、木祖村内企業にお勤めの方

- 参加特典
- 個人、チーム歩数ランキング上位5位までに賞状と木祖村商品券
 - 熊鈴、限定えってこ反射タスキか反射板、ヘルス&エコポイント1P（参加申込書を役場に提出された方）

参加方法 参加申込書を役場に提出し、「木祖村健康アプリえってこ」内よりウォーキングラリー大賞に参加してください。申込書は住民福祉課保健係のカウンターにご用意しています。

便利な
消音機能付き！



お問い合わせ 木祖村役場 住民福祉課 担当：神田 ☎：36-2001

公民館だより

令和8年度に入り、前回広報から5月までに実施した講座についてご報告します。すくすく倶楽部の子ども達や、すくすく大学の小中学生も一緒に参加し、総合スポーツクラブとも連携しながら開催しています。今後も各講座を開講していきますので、皆様の参加をお待ちしています。

■ 4/26(日)・5/11(月) 農業体験



■ 5/25(月) 音楽教室



■ 5/28(木) 公民館講演会



5月28日(木)の分館長・主事会議において長年の公民館活動に対し篠原長平さん(11年間)、青木求さん(10年間)が表彰されました。これまでご尽力いただいたことに感謝申し上げます。

また同日、公民館運営委員及び公民館運営審議会委員を対象に講演会を開催しました。

松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科 白戸洋教授にお越しいただき、『公民館役員のゆううつ～学習的手法による地域づくりと公民館』と題し、地域とどう向き合うのか、つながるために何が必要か、学習型地域づくりについて実践を通した講演をしていただきました。以前は地域が会社のような形であったが個人の経済力のアップや行政がやってくれるようになったことで地域のやる事が少なくなってきた。その結果、会社の組織だった地域は壊れてきた。しかし昔に戻りたいかと問えば生きるためにいやでも地域の付き合いをしなけりゃならなかった昔には誰も戻りたくはない。

地域のことで悩んで寝られないという人はほとんどいないと思うが、いざ自分のこととなるとプライドもあるため寝られないという人は多い。人間は個人の問題でないと動けない。一般化しないで自分のこととして捉え直し行動をする、やってみるということが大切である。

この講演により個人としての問題に落とし込んで考え、やってみるということから課題が明らかになり次につながるということが印象深く、地域づくりをしていくための公民館活動について今後の参考となりました。

分館だより

数原分館

5月に運営員会を行い、今年は4つの「やってみたい」によりコーヒー講座・編み物・昆虫ライトトラップ・そば打ちにチャレンジします。6月6日(土)は転作センターの掃除をしました。



吉田分館

6月7日(日)に、花壇づくりと草刈りを地区内の数か所に分かれ行いました。大勢の方に参加ご協力いただき誠にありがとうございました。



小木曽分館

5月17日(日)に、こだまの森を出発し奥木曽湖を一周するE-BIKEサイクリングを開催しました。当日は最高の天候に恵まれ、参加者の皆さんは新緑に包まれた奥木曽湖周辺の景色を楽しみながら爽快なサイクリングを満喫しました。



菅分館

5月23日(土)に、菅公民館において初のカローリング体験を行いました。氷上で行うカーリングとほぼ同じですが、方向、距離感、力加減を調整しても的になかなか入らない。やってみると意外と楽しい！老若男女誰でもできるゲームです。菅区の皆さん今度ぜひ参加してみてください。



有害鳥獣対策にご協力をお願いします

近年、村内ではイノシシやニホンザル、ニホンジカによる農作物被害が増えています。

また、全国的にもツキノワグマ等による人身被害が発生しています。

村では追い払い隊事業等の有害鳥獣対策に取り組んでいますが、農作物被害の軽減と人身被害の防止のため、村民の皆様のご理解、ご協力をお願いします。

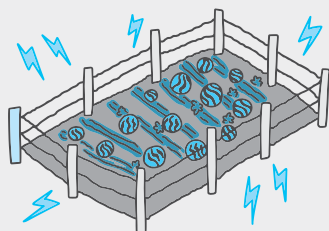
◎有害鳥獣対策の基本は

「与えない」「近づかせない」「減らす・増やさない」

1. 与えない

野生鳥獣に餌を絶対に与えないください。

- 農作物を食べられないようにすることも重要です
- ・ 農地への電気柵の設置
- ・ 農作物や食べ物を放置しない（収穫を徹底し、廃棄しない）



2. 近づかせない

野生鳥獣は身を隠せる草むらを移動します。土地所有者や近隣住民での草刈りをお願いします。

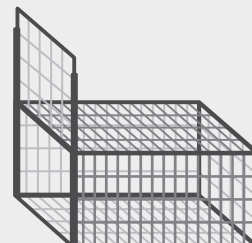
ニホンザルについては出没时间に追い払いを行い**危険な場所であると認識させる**ことが重要です。



3. 減らす・増やさない

県と協議のうえ捕獲計画を定め、猟友会へ委託して捕獲を実施しています。

捕獲の推進とあわせて、「与えない」「近づかせない」対策が重要になります。



◎村の事業へのご協力について

村では、被害情報や目撃情報を元に有害鳥獣対策を行います。

被害や目撃があった場合は、役場へご連絡ください。

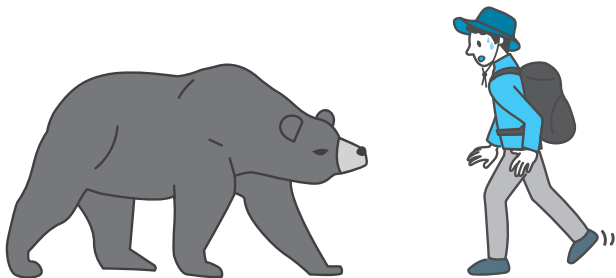
その際ですが、以下の情報があると対策がしやすくなります。



① 場 所	
② 鳥獣の種類	ニホンザル、イノシシ、ニホンジカ、ツキノワグマ等
③ 大 き さ	大一中一小レベルでかまいません
④ 頭 数	可能であれば成獣（親）と子それぞれの頭数
⑤ 移 動 方 向	移動している場合は「〇〇からきて△△へ行った」など
⑥ 被 害 状 況	かぼちゃを取られた、屋根に上っているなど

◎野生鳥獣にご注意ください

人身被害が多いのは、ニホンザル、イノシシ、ツキノワグマです。生活の中で急に遭遇することもありますので、次の点に注意していただくことで被害にあう確率を下げることができます。

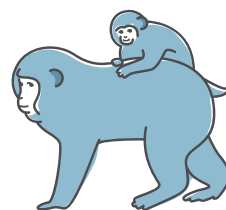


まずは、「**大声を出さない**」
「**急に動き出さない**」
「**走って逃げない**」ことです。

ツキノワグマに関しては逃げるものを追いかける習性があるため、**背中を向けて逃げるのは危険**です。**ゆっくりと後ずさりして離れましょう。**

◎農作物の被害対策について

サルは人のいない時間帯（早朝・夕方、あるいは日中の不在時）を狙うことが多く、**特に収穫期は注意が必要です。**一度「この場所には食べ物がある」と学習すると繰り返し侵入するためラジオを流したり見回り（散歩）の頻度を増やして「人がいる危険な場所」と学習させましょう。



◎防除対策補助について

農作物等の鳥獣被害を防除する目的で、電気柵、防除ネット、追い払い機器等の設置費用の一部を補助します。**物理的に侵入を防ぐ対策が重要**になりますのでご活用ください。

◎補助額

区 分	内 容	補 助 率	補助上限額
個人で設置	購入費用の補助	購入金額の50%以内	3万円 (購入額10万円以上の 場合5万円)
団体で設置	購入金額の補助	購入金額の70%以内	20万円

申請を希望される方は、事前に産業振興課までご相談ください。

申請には、購入金額が確認できる資料、カタログ、設置場所の写真などが必要です。

詳しい内容については、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

お問い合わせ 木祖村役場 産業振興課（林務係・農政係） ☎ 36-2001



木祖村郷土館だより



木祖村郷土館「木曾のお六櫛展」開催

本展示ではお六櫛の製作技術を中心に櫛の歴史・製作道具に触れながら、お六櫛にかかわる資料を紹介します。「お六櫛をみる・ふれる・つくる」をテーマに、お六櫛に触る・つくる体験もできます。どうやって道具を使うのか、どんな色や形をしているのか、櫛の歯は何本あるのか。小さな疑問も一緒に考えながらお六櫛のおもしろさに迫ります。

展覧会情報

開催期間：7月20日(月)～12月25日(金)

時 間：9:00～16:00

休 館 日：毎週月曜日（月曜日が祝日にあたる場合は火曜日）

観 覧 料：大人 300 円、小人 100 円（中学生以下）、団体割引 200 円（30 人以上）

展示内容一部ご紹介



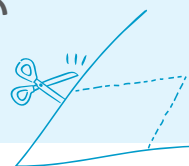
櫛挽きコーナー「お六櫛だれでも挽き体験！」参加無料 どなたでも参加可

体 験 日：8月9日、8月16日、9月21日、10月17日、11月15日（全5回）

時 間：10:00～12:00 ＊体験時間は一人10～20分程度

村民のみなさまに「木曾のお六櫛展」招待券を配布します。

本誌 裏表紙の招待券を切り取ってご利用ください
(招待券1枚につき1世帯まで無料)



お問い合わせ 木祖村教育委員会事務局 ☎ 36-3348
木祖村郷土館（火～日曜日 9:00～16:00）月曜休

NEWS 1

木祖村総合型スポーツクラブの総会が開催されました

6月3日(木)に源流のもりクラブの定期総会が開催されました。ご来賓を含め、26名が参加され、予定されていた議案について審議・決議をいただき、無事総会を終えることができました。今年度の事業計画の大きな柱9項目を紹介します。

- マシンやモニターを使って健康や体力づくりを意識づけに！
- 100歳人生の健康づくりは幼児・児童のベーシックスポーツから
- 村の観光資源を生かしたスポーツを推進する
- 子どもたちに夢・目標を持たせよう！
- 単一種目から多目的・多種目参加に
- 既存の事業にもバックアップ体制を確立する
- 多くの指導者リーダーの発掘要請と組織の充実
- 障がい者スポーツの環境づくりを整える
- 「まめっとCafé」を村民の誰もが集まるたまり場的な存在に



具体的な事業名は既にお知らせしています。村民の皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

NEWS 2

ふるさとアスリート等応援基金を拠出しました

令和7年度に設立された「木祖村ふるさとアスリート等応援基金」ですが、村民の皆様方の温かいご支援により、企業および個人、また村からの交付金を併せ、総額5,243,000円を運用基金とすることができました。今年度に入り、森下つば実さん（木祖中出身、日本大学在学中）から申請3通があり、5月に審査委員会が開催され、結果3申請について運用基金の一部を要綱に沿った応援基金として拠出することが決まり、6月に交付しました。森下さんは現在、全日本スキー連盟のアルペン強化指定選手となっており、世界に羽ばたきつつあるふるさとを代表する若きアスリートです。今後の活躍を願わずにはられません。村民の皆様のご理解応援を切にお願いいたします。

NEWS 3

中信および県小学生陸上競技大会に参加しました

5月24日(日)に開催された中信地区小学生陸上競技大会において入賞を果たした木祖源流トラッククラブの5名の皆さんが、6月28日(日)長野市陸上競技場で開催された県大会に出場しました。入賞こそ逃しましたが、それぞれが良い結果をだすことができました。



県大会の様子



中信大会入賞者の皆さん

中信大会の入賞者の皆さんです。

工藤昌斗さん（5年生）
原 柚風さん（5年生）
湯川冬萌さん（5年生）
奥谷琉人さん（5年生）
坪井修治さん（6年生）



お問い合わせ

木祖村総合型スポーツクラブ事務局 ☎ 36-3500（まめのわ内 月・水～金曜日9：00～17：00）
まめのわフィットネスルーム…月・水～土曜日9：00～21：00、日曜・祝日9：00～17：00
まめっとカフェ……………月・水～金曜日9：00～17：00（ラストオーダー16：30）

伊藤一生の恋愛コラム

Vol.49

ピグマリオン効果

今回は「ピグマリオン効果」について。

ピグマリオン効果とは、教育心理学における心理的行動の1つで、教師の期待によって生徒の成績が向上することを言います。

教育心理学者のローゼンタール氏とフォード氏が心理学の実験で、学生たちにネズミを使った迷路実験でネズミを渡す際、これはよく訓練された利巧な系統のネズミ、これはまったくのろまなネズミと渡したところ、その二つのグループの間で実験結果に差異が見られました。前者のネズミを渡された学生たちは、ネズミを丁寧に扱い、後者のネズミを渡された学生たちはぞんざいに扱い、その両者のネズミへの期待度の違いが実験結果に反映されたものとローゼンタール氏は考えたんですね。そこで、これは教師と学生の間でもありうるのではないかと。

その後、教育現場での実験として、サンフランシスコの小学校で行った実験があります。

ハーバード式突発性学習能力予測テストと名づけた普通の知能テストを行い、担任には、今後数ヶ月の間に成績が伸びてくる学習者を割り

出すための検査であると説明しました。しかし、実際のところ検査には何の意味もなく、実験施行者は、検査の結果と関係なく無作為に選ばれた児童の名簿を学級担任に見せて、この名簿に記載されている児童が、今後数ヶ月の間に成績が伸びる子ども達だと伝えていました。その後、担任は子ども達の成績が向上するという期待を込めて、その子ども達を見ていたのですが、驚くことに確かに成績が向上していったとのことでした。

実はこれは、昔からぼくが不思議に思っていたことで、なぜアイドルはデビューしたときからどんどんカッコよくなったり綺麗になったりしていくんだろうか、と。周りから褒められたり、期待されたり、そういう風に見られることで、顔つきだったり、表情だったりが変わり、結果として外見が変わっていくのではないかと。人間の細胞は徐々に生まれ変わるとも言われてますね。

ピグマリオン効果については賛否両論あるものの、ぼくは支持しています。そして、実感でしかないのですが実際に効果はあると思っています。

ここで大事なことは男女共に「褒めてくれる人の側にいること」です。

自分を褒めてくれたり、期待してくれる人、自分を高めてくれる人、そういう人の側にいるようにしましょう。褒められると自然と笑顔にもなりますし、そういう人間はモテますよ。

伊藤さんへの質問や相談を募集しています。

「婚活イベントに参加しても上手くいかない…」、「気になる人と仲良くなりたい」などのお悩みがある方はメールにてご相談ください。伊藤さんが丁寧に答ええます！

ご希望の方は右のQRコードよりメールをお送りください。

※QRコードを読み取るとメール作成画面になりますので、お悩みをご記入の上、送信してください。匿名での相談もOKです。

※回答には少しお時間をいただきますので、ご了承ください。



★活動報告

春は滋賀県、長野県内、広島、愛知で特産品と観光PRを行ってきました。特に広島で行われたイベントでは4組ほど木祖村へ行ったよという声もありました。また木祖村へ行ったよという方々が立ち寄ったお店とかで優しくして頂いた、とても素敵なお店だったと大変喜んでいまして、PRしてよかったなあと感動しました。

愛知のイベントでは日進市の道の駅である「マチテラス日進」での木祖村の特産品PRを行った、愛知県豊川市のイベントで日進市と共同で出展を行い、木祖村と日進市の特産品のPRも行ってきました。今後も日進市とは色々一緒に活動を行っていく予定です。

また長野県その他の自治体さんからも共同で特産品のPRを行いたいとお声がけも頂き、木祖村の特産品を知って頂ける機会が増えていっているのも頑張っています。



お問い合わせ 木祖村役場 総務課（結婚支援担当） ☎ 36-2001

木祖村地域おこし協力隊員の2人から皆さんへのお便り

木祖村にお住まいの皆さまへ

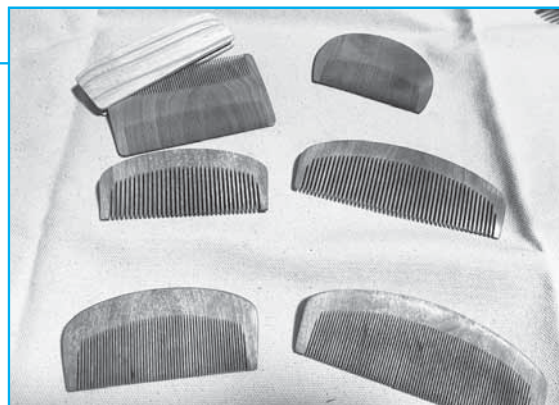
現在、木祖村では井上・栞葉の2人の隊員が活動しています。伝統継承・木工振興、それぞれのテーマをもって、木祖村の課題解決や地域力の維持・発展のため、日々励んでおります。この“お便り”では、その活動や日常を「地域の皆さまに知ってもらいたい！」という思いのもと、お手紙をしたためるように、紹介します。

伝統工芸「お六櫛」の技能継承・発展に取り組む

井上 慧 隊員より

地域おこし協力隊最終年度(3年目)になりました。

今年度は定住の準備と販売の準備などをしていかなければと思っています。住宅兼工房の手配、改修、整備、などを進めているところです。今年度に入って色々な物の値段が高騰し当初の計画より進んでいないというのが現状です。世界情勢だったり周りの環境だったり、いろいろなことが影響しあっているのので、「今までと同じ」は通用しないと改めて感じました。逆に言う「今までと同じを維持すること」も大変だったり不可能になってきています。販売の準備に関してはマーケティング戦略を考えていかないといけないと思っています。



櫛の種類も増やしていこうと考えています。今までは機械挽き4種類、手挽き2種類の6種類でした。10種類に増やしていこうと考えています。柄付き櫛、塗り櫛に挑戦していこうと考えています。塗り櫛はミネバリではなくイチヨウや朴ノ木が良いと聞いているので村内産材で作れたらと考えています。村内を散策しているとよく見かける樹種なので、うまくいけば植樹しても良いのではないかと考えています。周りの山もイチヨウや朴ノ木に限らずいろいろな樹種を植樹することで景観が良くなると思うので検討しても良いのではないのでしょうか。

前職の仕事も生かせるような準備も進めていこうと思っています。管楽器の修理、メンテナンスを少しずつ始めようかというところです。楽器に興味がある方連絡ください。

木祖村の木工振興と向き合い、活動を続ける

栞葉 久義 隊員より



地域おこし協力隊として木祖村に赴任し、いよいよ最終年度となる集大成の年を迎えました。これまで私は、村内の用事や家具製作取付、村外の個人のお客さま向けの特注家具の製作、図面の設計から現場での施工まで一貫して携わってきました。個人的にも村への貢献度は一定摂れたのではないかと考えています。

そんな私が日々モノ創りで大切にしているのは、単に「創ることが好き」という気持ちだけにとどまらない、プロの「職能」としての実直なものづくりです。木祖村という良質な材が育まれる素晴らしい環境のなかで、それぞれの木が持つ性質や個性にしっかり耳を傾け、その素材が一番活きる形を導き出すことを第一歩としています。これまでの活動の軸となっているのは、建具職人での伝統的な技法と、家具の立体的な機構を組み合わせた独自の技術です。新品の時が一番美しい状態ではなく、修理をしながら世代を超えて、何十年、百年先まで愛着を持って使い続けられるような、確かな品質の木製品を生み出すことを目指しています。

協力隊の任期終了後も、村のモノ創り拠点「輪嶋屋木工芸」として本格的に事業を展開していくことになっています。3年後のヴィンテージ108年後のアンティークを創る職人としてこれからも村の豊かな木材を活かし、次代に引き継がれる資産となるような製品をこの地から丁寧に生み出し続けます。お世話になった村の皆さまへの感謝を胸に、これからも確かな技術で地域の木工振興に貢献していきたいと思っています。

観光協会だより

特産品のカタログ販売をやっています

木祖村観光協会では、木祖村アンテナショップや各イベントでの特産品販売の他に、その時期に合わせた特産品をピックアップして商品一覧を作り、下流域の各施設様に注文をいただき納品するカタログ販売を、春・夏・冬の年3回おこなっています。

春と冬には道の駅加工施設の加工食品を定番にすえながら、春には黒酢や初夏に蔵出しの日本酒等、冬には蕎麦、冬に蔵出しの日本酒、煮豆やのど飴等、その時期の商品をラインナップに加えて販売しています。

そして夏にはトウモロコシの販売となります。トウモロコシはとても人気が高く年々注文数が増大しており、収穫の最盛期となる8月上旬は、毎日保冷車いっぱいにはトウモロコシを積んで下流域の各施設様にお届けしています。さらに並行して全国に支店のある施設様の各支店の注文や、ネット販売等の注文に対応して、地方発送もおこなっております。

今年の夏は、さらに新たな注文先を増やしております。またトウモロコシだけではなく御嶽白菜や完熟トマト等もカタログに加えて、木祖村の夏野菜を広めていきたいと思っております。



お問い合わせ (一社) 木祖村観光協会 ☎ 36-2543



“新緑祭り”木祖村のみなさんありがとう!!

今年も木曽谷は春の緑と爽やかな風で私たちを迎えてくれました。木祖村の自然に囲まれ、体中に新鮮な空気を吸い込むだけで生きている喜びを感じることができます。



ゴルフコンペ



懇親会

初日は木曽CCでゴルフコンペ。真っ白な雪を冠った御嶽山と真っ青な空のコントラストに感動です。

そして夜はあららぎ荘での懇親会。時を忘れて盛り上がり、締めめのタイミングが難しいほどでした。

2日目は朝食前に、はなまる農園さんが準備してくれた畑でトウモロコシの種まきです。大自然の中、朝の澄み切った空気を胸いっぱい吸いながら楽しみました。

朝食後は、鳥居峠にカエデの植樹です。植樹に先立ち、皆様から頂いた「カエデ募金」から2万円を奥原村長にお渡しし村長から「お礼の言葉と感謝状」を戴きました。

植樹作業で汗を流した後は、山菜弁当とトウブキの煮物でのお昼です。特に楽しみにしていた特別メニューは、観光協会のみなさんが丹精込めて作ってくれたウド汁と蒸しワサビ、ウリッ葉のからし味噌和えです。

木祖村でしか味わえないこの田舎の味のもてなしは、参加者の評判がよく、これを目的に参加する人も多くいます。



トウモロコシ種まき



カエデの植樹会



山菜弁当と山菜料理



収穫したわらび

最後の楽しみはわらび採りです。数日前の大霜で、わらび全滅の不運がありましたが、幸い、その後の好天のお陰で参加者全員に喜んでもらえる程度の量が収穫できました。

新緑祭りは自然を楽しむ企画ですので、当日はもちろん数日前からの天候に大きく左右されます。それでも、東海地区からの参加者が楽しい思い出を持って帰れるように、木祖村役場と観光協会ははじめ村民のみなさんが一生懸命準備をして頂くことで本当に楽しいイベントになりました。改めて木祖村のみなさんに感謝です。

「子ども活動支援金」を活用してとちのみ保育園のプールを購入しました

公益財団法人ライフスポーツ財団より「令和8年度子ども活動支援金」をいただきました。この支援金は子どもたちの健全な心身の発達に資することを目的としており、日常的な運動遊びやスポーツに親しむための取り組みを行う市町村などに交付されるものです。木祖村で申請を行った結果、採択されとちのみ保育園のプールを新しく購入することができましたのでお知らせいたします。



芝の上で、着替え、休憩もできそうです。



今年度は業者の方に設置していただいたプールです。



未満児プール周りにも芝生を敷きました。



6月14日の日曜参観日後の作業でうちの方にプール周りのテント張りと同様に支援金で購入した人工芝の設置をしていただきました。

組み立ての工程作業も少なく、来年度から保護者の方をお願いすることとなりますが、子どもたちが楽しく水遊びができてそうです。

にこにこ広場&救急法講座

5月19日のにこにこ広場は「春のお楽しみ」として支援センターを飛び出しみんなでこだまの森へ行ってきました。小春日和のなか、スタンプラリーやおやつピクニックを楽しみました。子どもたちもお母さんたちもにこにこな時間となりました。



5月26日には北分署の救急救命士さん2名を講師にお迎えして「救急法講座」を開催しました。子どもたちの行動は予測不能…いつ、どんなケガや事故につながるかわかりません。いざというとき子どもの命を守るよう実践も交えながら心肺蘇生法や家庭でできる応急処置や受診の目安もわかりやすく教えていただきました。

放課後児童クラブ日記



子ども達は遊びのプロです！

5月6月は外で元気いっぱいに遊びました！多少の曇り空も気にせずブランコやシーソー、鬼ごっこやサッカー、野球などで思いっきり遊びました！教室の中では工作をしたり宿題をするなどをして思い思いに過ごしています。時には大人が思いつかないような傑作を作り出すこともあります😊

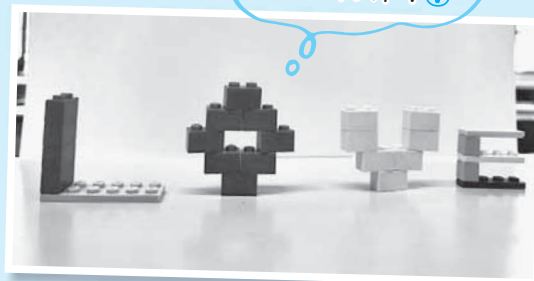
外遊びが大好き！
梅雨のジメジメも吹き飛ばします！



将来はメジャー
リーガー？😊



木祖村の子ども達は
新進気鋭の
アーティスト？😊



毎週金曜日には奥谷さん西野さんに身体を
動かす遊びを教えてもらっています。



『いらっしゃいませゲーム』『やどかりゲーム』
などの遊びをしています。
体育館の中は明るい笑い声が飛び交っています😊

7月23日～8月18日は学校が夏休みに入るため、児童クラブは1日開所します。(土日祝お盆を除く)

小中学校あり方検討会「学校創りミーティング」の報告



昨年9月から今年3月30日までの間に、村民参加型学校創りミーティングを3回にわたって開催しました。参加者は小中学生も含めて延べ約150人に上りました。3回とも活発なグループワークが展開され、「子ども達が幸せになる学校創りについて考えよう!」を基本テーマに、子ども達に提供したい学びのあり方、どんな学校にしたいか、どんな教育形態が望ましいのか、地域の大人達のかかわり方は等々、ミーティングテーマを絞りながら、参加者が意見を出し合いました。3回目には新しい学校創りのスローガンなどについても考え合いました。

これまでのミーティングを総括してみると、以下主要な3点

- 地域とともに育つ学校（ふるさとを思う心と地域の未来を支える学び）
- 子どもの学びの姿（探究・挑戦・体験）で高める学びの質
- 子どもを支える環境（空間・大人・コミュニケーション）づくり

に集約できました。

また、ミーティングの振り返りの中で、一番参加してほしい保育園児の保護者の意見も聞いた方がいいのではということから、3月には保護者の集まりがある場に出向き、意見を聞くことも行いました。同様に6月には小中学校教職員研修会の場でもスローガンづくり等について意見を求めました。

今後、あり方検討会では上記3視点を大事にしながら「学びのあり方」、「具体的な学校運営」、「必要な施設づくり」等々について引き続き検討を進めていく予定です。



小中学校の先生方による
ミーティング

お問い合わせ 木祖村役場 教育委員会 ☎ 36-3348

幸せテラスまめのわ周辺緑地 ドッグラン利用のお願いについて

幸せテラスまめのわ周辺緑地（砂地ドッグラン、芝生エリア）でドッグランをご利用いただくには、事前の利用登録が必要です。登録は無料で、役場住民福祉課窓口にて申請できます。

愛犬や利用者の皆様が安心・安全に利用できるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、芝生エリアはマレットゴルフ、イベントの優先エリアのため、他の利用がない場合に限り利用いただけます。

既に登録されている利用者の皆様におかれましても、今一度利用ルールとマナーを確認いただき、誰もが気持ちよく利用できるようご協力をお願いいたします。特にふん尿の処理には格別のご配慮をお願いいたします。（利用マナーが守られない場合はドッグランの利用を中止させていただく場合があります。）



お問い合わせ 木祖村役場 住民福祉課（福祉係） ☎ 36-2001

『令和9年度採用 木祖村職員』を募集しています

令和9年4月1日採用の一般行政職（高校卒業程度）を募集しています。

○受験資格：平成13年4月2日から平成21年4月1日までに生まれた方

○試験日：1次試験 令和8年9月20日(日)

2次試験 令和8年10月18日(日)

1次・2次試験の総合評価で採用予定者を決定します。

○場所：木祖村役場 2階 大会議室

○申込期限：令和8年8月17日(月) 17時15分必着

○申込方法：受験申込書（木祖村ホームページからダウンロードするか、役場総務課までご請求ください。）他、必要書類を役場総務課窓口まで本人が持参提出をお願いします。

※事前に提出日時を担当までご連絡ください。

※持参が難しい場合は郵送による提出も受け付けますのでご相談ください。

お問い合わせ 木祖村役場 総務課（庶務係） ☎ 36-2001

サマージャンボ宝くじ 発売中です！

「サマージャンボ宝くじ」と「サマージャンボミニ」、そして新登場の「サマージャンボプレミアム」が、6月30日(火)から7月31日(金)まで全国で3種類販売されています。

新登場！サマージャンボプレミアム

1等 8億円×4本

前後賞各 2億円×8本

※当せん本数は、販売総額が200億円・4ユニットの場合

サマージャンボ宝くじ

1等 5億円×20本

前後賞各 1億円×40本

※当せん本数は、販売総額が600億円・20ユニットの場合

サマージャンボミニ

1等 3,000万円×60本

前後賞各 1,000万円×120本

※当せん本数は販売総額180億円・6ユニットの場合



この宝くじの収益金は、市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢者対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

- 宝くじの収益金は、長野県の販売実績により配分されますので、長野県内の宝くじ売り場でお買い求めください。
- インターネットなら24時間いつでも宝くじが購入可能です。
- 「宝くじ公式サイト」での会員登録の住所が長野県であれば、収益金は長野県に配分されます。

TOPICS

お六櫛組合に国無形民俗文化財の選択書を伝達しました



本年3月、お六櫛の製作技術が「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（国の選択無形民俗文化財）」に選択されました。これを受け、5月2日(土)に奥原村長が文化庁長官名による選択書をお六櫛組合へ代理で伝達しました。

お六櫛は、江戸時代から木曽地域に伝わる伝統工芸で、ミネバリの木を用いて作られる木製の櫛です。幅約10センチの中に約100本もの歯が細かく引かれており、一本一本を丁寧に削り出す高度な手仕事の特徴です。

伝達式において篠原修組合長は、「今回の選択を励みに、これまで以上に技術の研鑽に努め、後世に確実に残していけるよう努力を続けていきたい」と述べられました。

村としても、このたびの選択を心よりお祝い申し上げるとともに、貴重な製作技術が将来にわたり確実に継承されるよう、引き続き取り組んでまいります。

緊急当番医

月	日	医 院 名	町村名	電 話	月	日	医 院 名	町村名	電 話
8	2	原 内 科 医 院	木曽町	22-2678	9	6	奥 原 医 院	木祖村	36-2264
	9	芦 沢 医 院	上松町	52-2018		13	王 滝 村 診 療 所	王滝村	48-2731
	11	古 根 医 院	大桑村	55-1188		20	原 内 科 医 院	木曽町	22-2678
	16	田 澤 医 院	木曽町	44-2008		21	芦 沢 医 院	上松町	52-2018
	23	大 脇 医 院	上松町	52-2023		22	田 澤 医 院	木曽町	44-2008
	30	木曽みたけ診療所	木曽町	46-2266		23	古 根 医 院	大桑村	55-1188
						27	大 脇 医 院	上松町	52-2023

変更のある場合がありますのでながの医療情報Net (<http://www.qq.pref.nagano.lg.jp>) にてご確認ください。
※広報きそ等で村民の方が写っている写真を使用させていただく場合がございます。ご協力の程お願いいたします。

村民のうごき ()内は対前月比

	人 口	男	女	世帯数
6月	2,425(-5)	1,141(-3)	1,284(-2)	1,071(-1)
7月	2,429(+4)	1,143(+2)	1,286(+2)	1,074(+3)

広報きそ 397号 (令和8年7月23日発行)
編集/発行:長野県木祖村 総務課
TEL:0264-36-2001 FAX:0264-36-3344
ホームページアドレス: <https://www.vill.kiso.nagano.jp>
この広報誌は、地球に優しい再生紙を使用しています

木祖村 郷土館 木曽のお六櫛展

招待券 招待券1枚につき、1世帯無料でご観覧いただけます。(1回限り有効)

有効期限 2026年12月25日(金)

発行:木祖村教育委員会 TEL:0264-36-3348

【利用前にご確認ください】

- 本券1枚につき1世帯までご利用可能です。
- 本券を郷土館受付スタッフまでご提出ください。
- コピー不可。
- 開館時間・定休日は事前にチラシ・HP等でご確認ください。

利用日 /

大 名様 小 名様

2026広報きそ7月号

関連イベント

お六櫛みがき体験ワークショップ

体験日: 8月9日、8月16日、9月20日、10月25日、11月22日

時 間: ①13時～ ②15時～

参加無料 (各回定員5名)

動物の骨や貝を使った昔の磨き方も挑戦できます。磨いた櫛は持ち帰れます。

ご予約は電話、またはQRからお申込みください。

*定員に達した場合、予告なく予約を終了する場合があります。

お申込みはこちら



お申込み 木祖村教育委員会 ☎36-3348